

# 東御に若者支援チーム発足

## 元教員ら 学習や就労助言

東御市に住む中学校卒業後の若者を支援しようと、同市などの元教員ら有志による「青少年支援チーム」が今月、発足した。ボランティアの支援員が一对一で勉強を教えたり、仕事に就けるよう助言したりする。通信制高校の生徒やフリーター、引きこもりや

ニートの若者を幅広く手助けする狙いだ。

市教育長の牛山広司さん(65)が「行政や教育の支援が行き届かない現状を何とかしたい」と、数年前から構想を練ってきた。元教員や福祉施

青少年支援チームの拠点の一つになる東御市の「台地の駅」



設職員などによる準備会を重ね、本年度は市から補助金5万円を受けた。

支援チームには市の民生児童委員や福祉課職員も参加。活動方針を決める運営チーム13人と、支援に当たる学習・就労支援チーム8人で構成す

る。支援員が市中央公民館、市立図書館、児童アイサービズをしている同市御牧原の「台地の駅 御牧原 岩井屋」などで個別に面会する。対象者として10〜20代の18人を把握しており、このうち10人の支援を始めた。

チームリーダー(代表)で国立音大(東京)元教授(音楽科教育)の内山澄孝さん(70)は「上田市中央東IIは」若者が自信を取り戻して本来の力を発揮できるよう役立ちたい」としている。

青少年支援チームは、支援対象となる若者は100人以上いるとみており、支援を受けたい人や支援者を募っている。問い合わせは事務局の東御市教育委員会(☎0268・64・5879)へ。